

# 彙 報

## 金田一京助会長逝去

本会会長金田一京助博士は、昭和46年11月14日逝去されました。金田一博士は本会創立以来評議員として、また昭和19年より副会長、昭和42年より会長として、本会のために尽くされました。会員諸氏とともに深く哀悼の意を表したいと思います。

## 第64回日本言語学会大会

津田塾大学において、昭和46年5月29日公開講演、30日研究発表、会員総会を開催。

### 1. 公開講演

西夏文献の話

西 田 龍 雄

日英語の比較と言語的普遍

中 島 文 雄

### 2. 研究発表

題目および発表者は79頁以降参照

## 第65回日本言語学会大会

北海道大学において、昭和46年10月2日公開講演、3日研究発表を開催。

### 1. 公開講演

プラグ学派の過去と現状

千 野 栄 一

論理学と意味の問題

大 畑 甚 一

### 2. 研究発表

アイヌ語カラフトライチシカ方言の親族名称について

古 川 恭 子

アイヌ語の二、三の音声現象について

浅 井 亨

西エスキモー語の語幹および接尾辞の形態的分類

宮 岡 伯 人

Put とその類義語の意味分析

荒 井 義 明

転換要素としての人称代名詞

平 川 信 弘

印欧語とウラル語：Sprachbund の問題

下 宮 忠 雄

ソシユールの言語理論に関する一考察

田 中 利 光

第 25 回九学会連合大会

昭和46年5月15日明治大学にて開催。「共同課題」は「沖縄地域の自然・社会・文化に関する総合調査における関連諸科学の共同研究態勢のあり方」。本会からは柴田 武氏が発表，徳川宗賢氏が司会した。

昭和45年度第6回委員会

日 時：昭和46年3月15日

場 所：学士会本郷分館

出席者：（ ）内は委任状受託数

江 実，小林英夫（1），佐藤 孝，柴田 武(12)，鈴木孝夫，  
徳永康元，服部四郎（1）

白紙委任 1名 委員総数 30名

議 事：1) 全委員による無記名投票の開票の結果，現委員のうちの既に決定された20氏とともに，次の20氏を昭和46・47年度委員の候補者とする事が決った。（五十音順）

今川太郎，梅田博之，大江孝男，大竹敏雄，大東百合子，  
大野 晋，小沢重男，日下部文夫，国広哲弥，小泉 保，  
佐藤則之，関根正雄，田中利光，徳川宗賢，長谷川欣佑，  
蛭沼寿雄，藤村 靖，堀井令以知，松田伊作，松本克己

2) 可能性検討委員会より次のような報告があった。

可能性検討委員会は2回の会議を開き，宗教学会・民族学会・心理学会の国際会議組織責任者の出席を求めて経験を聞き，その知識をもとにし，さらに本会から国際言語学会議に出席した諸氏の意見を求め，また，国際言語学会議等の資料をもとにして検討した結果，次のような結論に達した。

① 不可能であるという結論は出なかった。

② 問題点は，資金・実行体制・研究内容および言語の障壁にある。なお，開催可能か否かは特に若手言語学者諸氏の熱意にまつところが大きいことが確認された。

- ③ 可能性検討委員会は次期の委員会においても設置されるよう希望する。
- 3) 言語学会と大修館書店との間で、『言語研究』について覚書をかかわすことを覚書の文面を含めて確認した。なお、大修館書店より申し出のあった広告はさみ込み、広告掲載については前者のみを承認することとした。
- 4) 本会の会則の「8. 本会は事務所を東京大学文学部言語学研究室内に置く」を「8. 本会は事務所を東京都千代田区神田錦町3-26 大修館ビル内に置く」に修正することにした。
- 5) 春季大会（第64回，5月29・30日・於津田塾大学）について
- ① 大会運営委員長を中島文雄氏に依頼することにした。
  - ② 公開講演者の候補を決めた。
- 6) 九学会連合沖繩調査（昭和46年度からの予定）の人選のために本年度第5回委員会において任命された小委員会より，次の6氏をえらんだ旨報告があった。
- 加藤正信，日下部文夫，柴田 武（以上本土側），大城 健，仲宗根政善，外間守善（以上沖繩側）
- 7) 昭和46年度科学研究費補助金の審査委員候補者として次の3氏を推薦した旨の報告があり承認された。
- 川本茂雄，佐藤 孝（以上第一段），北村 甫（第二段）

#### 昭和46・47年度委員選挙の結果について

昭和46年4月8日締切りの新委員選挙の結果，40氏の当選が決定した。（表紙裏参照。開票4月13日。）

#### 昭和46年度第1回委員会

日 時：昭和46年4月27日

場 所：学士会本郷分館

出席者：（ ）内は委任状受託数

大東百合子，川本茂雄，国広哲弥，小泉 保，高津春繁（8），  
河野六郎（5），佐藤則之（1），鈴木孝夫（1），徳川宗賢，

徳永康元（4），長谷川欣佑

白紙委任 3名， 委員総数 40名

- 議 事：1) 委員長に高津春繁氏，編集委員長に鈴木孝夫氏を選出した。
- 2) 委員長を補佐する委員に国広哲弥，長谷川欣佑両氏をえらんだ。
- 3) 九学会理事に徳川宗賢氏をえらんだ。
- 4) 第64回大会の公開講演者，研究発表者を決定した。

昭和46年度第2回委員会

日 時：昭和46年5月29日

場 所：津田塾大学

出席者：（ ）内は委任状受託数

梅田博之， 大江孝男， 大束百合子， 日下部文夫， 国広哲弥，  
小泉 保， 高津春繁（8）， 小林英夫， 佐藤則之， 鈴木孝夫（1），  
関本 至， 田中利光， 徳川宗賢， 西田龍雄， 野上素一， 野村正良，  
長谷川欣佑， 蛭沼寿雄， 堀井令以知， 松田伊作， 村山七郎

白紙委任 4名 委員総数 40名

- 議 事：1) 大会運営について決定した。
- 2) 昭和45年度会計報告を別表の如く承認した。（104頁参照）
- 3) 常任委員会設置  
副委員長を河野六郎氏に委嘱し，委員長，副委員長，編集委員長，大江孝男氏，国広哲弥氏，長谷川欣佑氏で常任委員会を構成することとした。
- 4) 委員の任務分担を次の諸氏に決定した。
- |           |                    |
|-----------|--------------------|
| 会 計 委 員   | 金田一春彦，野上素一         |
| 東洋学研究連絡委員 | 河野六郎               |
| 文科系学会連合委員 | 徳永康元（語学文学研究連絡委員兼任） |
|           | 西田龍雄               |
- 5) 編集委員長鈴木孝夫氏より，次の諸氏を編集委員に任命した旨報告があった。

梅田博之, 風間喜代三, 川本茂雄, 小泉 保, 徳川宗賢,  
西田龍雄, 長谷川欣佑, 藤村 靖, 松田伊作

- 6) 従来の幹事を解任し, 新幹事を竹内公誠氏に委嘱することとした。
- 7) 次期大会を9月下旬頃北海道大学で開催することとした。
- 8) 可能性検討委員会の問題, 学会寄贈の書籍・雑誌の処理については, 常任委員会で検討することとした。

#### 昭和年46度第1回常任委員会

日 時: 昭和46年6月9日

場 所: 学士会館本郷分館

出席者: 高津春繁(委員長), 河野六郎(副委員長), 鈴木孝夫(編集委員長), 大江孝男, 長谷川欣佑, 国広哲弥; 竹内公誠(幹事), 今までの引き継ぎの意味で, 湯川恭敏氏も出席。

議 事: 1) 北海道大学における秋の言語学会大会について

研究発表の時間を従来25分から30分にのぼし, 質問時間を従来5分から10分にのぼすことにした。但しこれより短くなるのは差支えない。

公開講演者の人選は1人を地元頼み, 他の1人は地元の希望を聞いた上で常任委員会で配慮する。

公開講演の代りにシンポジウムを開くことの可能性について話し合ったが, 今回は見送ることにした。

- 2) 国際言語学会会議日本開催の「可能性検討委員会」を再び設けることとし, その人選は高津委員長, 河野副委員長に一任することとした。
- 3) 編集委員長の交代  
鈴木編集委員長の海外出張に伴い, 編集委員長は交代することとし, 新委員長は編集委員の互選によることとした。
- 4) 言語学会へ寄贈された図書は東京大学へ寄贈することとした。

昭和46年度第2回常任委員会

日 時：昭和46年8月14日

場 所：学士会館本郷分館

出席者：高津春繁，河野六郎，国広哲弥，大江孝男，長谷川欣佑；  
竹内公誠（幹事），中村君代（囑託）。

議 事：1) 秋の言語学会大会関係。

2) ポローニアの国際言語学者会議行きの団体募集計画を日本交通  
公社が示してきたので承認した。募集事務は一切公社にまかせ  
ることとした。

3) 可能性検討委員会（第二次）設置。

新メンバーは現常任委員プラス小林英夫氏，その他若干名と  
する。

4) 次の全体委員会で新評議員の推薦方法を考えることとした。

5) 学会囑託の手当を月額 12,000 円から 16,000 円に増額した。

6) 会費滞納者に督促状を出すこととした。

7) 昭和45年度の支出明細書について報告があった。

8) 今回から囑託もこの会に出席することとした。

昭和46年度第3回委員会

日 時：昭和46年10月2日

場 所：北海道大学文学部

出席委員：（ ）内は委任状受託数

梅田博之，亀井 孝，木村彰一，日下部文夫，国広哲弥（3），  
高津春繁（11），小林英夫，佐藤 孝，関本 至，田中利光（3），  
徳永康元（1） 白紙委任4名 委員総数40名

議 事：1) 大会の役務分担。

2) 国際言語学者会議日本開催の「可能性検討委員会」のメンバー  
を次のように決定した。（五十音順）

泉井久之助，大江孝男，亀井 孝，川本茂雄，国広哲弥，  
江 実，高津春繁，河野六郎，小林英夫，柴田 武，

長谷川欣佑, 服部四郎

3) 新評議員推薦の基準について

言語学会の委員を通算5期以上勤めていることをまず基準とし、さらに細かな点については常任委員会に委ねる。

4) 次回以後の大会でシンポジウムを実施する方向で準備を進める。

5) 金田一京助会長が昭和47年5月、満90歳になられるのを祝して、会員から均一1,000円の募金を行ない、会長に献ずることとする。

6) 会則に次の一項を加える

「定例の大会における研究発表は会員に限る。」

7) 『言語研究』の投稿規定に次の諸項を加える。

「投稿は会員に限る。」

「投稿の際、原稿のほかに写し2部を添える。」

「投稿論文は未公刊のものに限る。」

「欧文論文の場合は、原則として、日本語による要約を添える。」

8) 大会の公開講演者への謝礼を今回から5,000円とする。

9) 『言語研究』の市販分の定価を現行の750円から850円に上げる。

10) 本会の中村君代囑託への結婚祝として5,000円を贈る。

◇ 金田一京助会長が昭和46年11月14日逝去されましたので、同月22日の常任委員会で協議の結果、とりあえず、高津春繁委員長を学会代表者とすることにしました。

## 昭和 45 年度会計報告

収 入		支 出	
前 期 繰 越	2,285	刊 行 経 費	841,375
会 費 (現 金)	382,121	発 送 料	37,750
(振 替)	880,955	大 会 関 係 費	84,100
雑 誌 売 上	262,230	通 信 費	75,602
補 助 金	100,000	事 務 用 品 費	24,235
利 息	1,231	九 学 会 連 合 会 費	10,000
寄 付 金	0	文 科 系 学 会 連 合 会 費	5,000
		C I P L 会 費	36,090
		雑 費	504,798
計	1,628,822	計	1,618,950
残 高	9,872		

◇ 本誌は文部省昭和46年度科学研究費補助金の交付を得て刊行されたものです。